



旧館「Historical Metropole Wing」のクラシカルなエントランスホール



旧館エントランスホールは吹き抜けとなり、上層階は優雅なラウンジの回廊が広がる



カフェ「La Terrasse du Metropole」の周辺は、まるでパリの街角を彷彿させる雰囲気である



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健剛代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

[www.jhrca.com/worldhotel](http://www.jhrca.com/worldhotel)

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

## ホテル メトロポール ハノイ Hotel Metropole Hanoi

[www.jhrca.com/worldhotel?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel?cat42)

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



「Sofitel Legend Metropole Hanoi」の重厚な正面ファサード。ソフィテルにとって「レジェンド」ブランドに指定した世界で最初のホテルである



新館「Opera Wing」の華やかなエントランスホール



新館「Opera Wing」の正面玄関車寄せ。張り出したアールヌーボーのキャノピーが印象的だ



中庭にあるスイミングプール。滞在客の憩いの場としていつも賑わっている



中庭には、バー、ラウンジ、スパ棟などの潇洒(しょうしゃ)な建物が点在する



正統派のフランス料理「Le Beaulieu」の店内



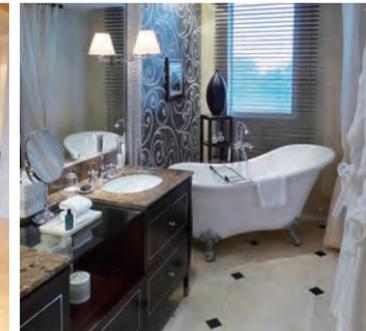
スパ「Le Spa」のレセプションホール。プールサイドに洒落た一戸建て感覚で用意されている



新館にある「Opera Wing, Grand Premium Room with Club Metropole」で、約48㎡の広さがあり専用のクラブラウンジ「Club Metropole」へのアクセスが付く



広いバスルーム側から見たベッドルーム



オープンスタイルのゴージャスなバスルーム

フランス統治時代の1901年に創業した、ベトナム屈指の格式を誇るコロニアルホテルである。創業当時は「グランドホテル・メトロポール・ハノイ」と称し、シンガポールのラッフルズを手本としたと言われる。以後、外国人にとってハノイにおける社交場の一大拠点として目覚ましい発展を遂げて行く。54年にベトナムがフランスから解放された後は国営となり、「統一ホテル」と名を変えた。92年に再びフランス資本ソフィテルにより合併ホテルに生まれ変わり、96年には近くのオペラ座にちなんで新館「Opera Wing」が増築された。また、ホテル名は2009年に「Sofitel Metropole Hanoi」から「Sofitel Legend Metropole Hanoi」に改名された。これは、ソフィテルにとって「レジェンド」ブランドに指定した最初のホテルである。

ホン河(紅河)の河口近くに広がるハノイの街は、ホン河の内側という意味で「河内」(ハノイ)と記されていた。ベトナムでは20世紀初頭に漢字は廃止されてしまったが、「河内」とは何と情緒的な響きであろう。ベトナム戦争中は反戦運動の旗手、ジェーン・フォンダがホテルに長く滞在をしていた。当時、各国の大使館がこのホテル内に事務所を置き、さながら国連施設と化し、日本大使館も一時期入居していたと言われる。

メトロポールは旧館の「Historical Metropole Wing」を合わせ、スイートを含めて全364室のゲストルームを擁する。筆者にアサインされた部屋は新館の「Opera Wing, Grand Premium Room with Club Metropole」で、約48㎡の広さがあり専用のラウンジ「Club Metropole」へのアクセスが付く。レストランでは、正統派のフランス料理「Le Beaulieu」、イタリア料理・ラウンジ「Angelina Restaurant and Lounge」、ベトナム料理「Spices Garden Restaurant」がある。プールサイドでは、バー「Bamboo Bar」とラウンジ「Le Club」で楽しめる。お勧めはカフェ「La Terrasse du Metropole」で、まるでパリの街角を彷彿させる雰囲気が入る。スパは温室を思わせる「Le Spa」がプールサイドに洒落た一戸建て感覚で用意され高評価を得ている。

旧館のヒストリカル・ウィングは100年前の重厚な雰囲気を今も漂わせている。エントランスホール正面にある階段は当時のオリジナルで、階段の上層階は優雅なラウンジの回廊となり見所の一つだ。一方、新館のオペラ・ウィングはクラシカルなモチーフを用いながら、より現代的な印象のインテリアとなっている。ここでは、ベトナムでパリのエキスを味わえる数少ない貴重なホテルと言えよう。

世界のリーディングホテルから厳選  
ホテルジャーナリスト  
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ  
3,000円(本体価格)

[www.obtapub.co.jp/worldhotel/](http://www.obtapub.co.jp/worldhotel/)

